



みらいっうしん

8月号

2023年8月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦芳子

☆感性を豊かにする体験☆

毎日の猛暑で、熱中症が心配されましたが、子ども達は何のその、水遊びやプール遊びをしながら、元気パワーで暑さを吹き飛ばしていました。保護者の皆様のご協力のお陰で、本日、無事一学期の終業式を迎えることができ心から感謝いたします。1号認定のお子さんは、夏休みに入りますが、この夏にしかできない体験やお手伝いなどを取り入れて、有意義な日々を過ごして下さい。また、2、3号認定のお子さんにおいても、なるべくお休みの時は、親子の絆を深めるため「家族水入らず」の時間を作ってゆったりと過ごしていただきたいと思ひます。

さて、7月は、大きな行事が2つありました。その1つは、「七夕コンサート」です。今回は、「ウッドウィンド・クインテット」という5人組の方に来ていただき、木管楽器のフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、金管楽器のホルンの演奏者が集まり、乳児さんとほし組、そら組とにじ組の2つのグループに分かれて演奏を聞きました。メンバーの方全員がとても優しい方達で、楽器紹介など、子ども達に分かり易く声をかけていただきながら、コンサートをさせていただきました。昨年来て下さったトランペットの方と、ホルンの方がファンファーレの演奏でコンサートが始まると、会場は一気におとぎの国のような雰囲気に包まれ、子ども達は、普段見ることがない楽器と音色に目をキラキラ輝かせてコンサートを楽しんでいました。夏に因んだ曲、七夕さま、きらきら星、おもちゃのチャチャチャなど、美しい音色にうっとりしたり、心が弾んだり、曲に合わせて手拍子も自然に出てくるなど、体全体で楽しさを表現していました。そら組とにじ組の回では、アラジンやリトルマーメイドの曲もあり、女の子はうっとりしていました。しかし一番盛り上がったのは、こども園の園歌で、演奏に合わせて大合唱でした。クイズや指揮者体験もあり、楽器の豆知識を学び、より一層の興味関心を持つことが出来ました。代表の子どもテンポに合わせて演奏者が楽器を奏でる場面は必見で、良い体験になりました。演奏者からは、「演奏していてとても楽しかったです。また機会があったら呼んでください。」とお礼をいただきました。もしかしたら、将来、子ども達の中から音楽家が誕生するかもしれませんね。(笑) 2つ目の行事は、「なつまつり」です。4年ぶりに、乳児さんが参加となり、可愛らしい甚平や浴衣姿が見られました。事前に、ちょうちん作りや太鼓を叩いたり盆踊りをしたりして気分はすでにお祭り気分でしたが、当日は、何のゲームがあるんだろうとワクワクしている様子で、虫探し、的当て、バスケットボール、コリントゲーム、シアター、太鼓コーナー、さくら会さんが企画した写真コーナー、製作コーナーへ思い思いに参加しました。また、盆踊りにも子ども達の掛け声が響き、最後まで活気に満ち溢れていました。お祭り後も、遊びの中に体験したことを取り入れて楽しんでいる姿が見られました。このように、普段の保育から行事に繋がり、楽しかったことを振りかえりながら、また、遊びが膨らむことは、子ども達の感性や意欲がより豊かになることと思ひます。多様な体験から豊かな感性を育み、子ども達のこころの動きに共感する重要性を認識し、職員一同、子ども達が、心身ともに成長していけるようこの夏も自己研鑽し、「教育・保育」を学んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、今年の夏はかなりの暑さが予想されます。どうぞ、ご自愛ください。



指揮者体験



虫探しごっこ



リズムに合わせて叩いて、踊って